

令和元年度  
白鷹町地域経済循環分析業務  
報告書  
**(概要版)**

# 1.1 【RESAS】地域経済循環分析(白鷹町)

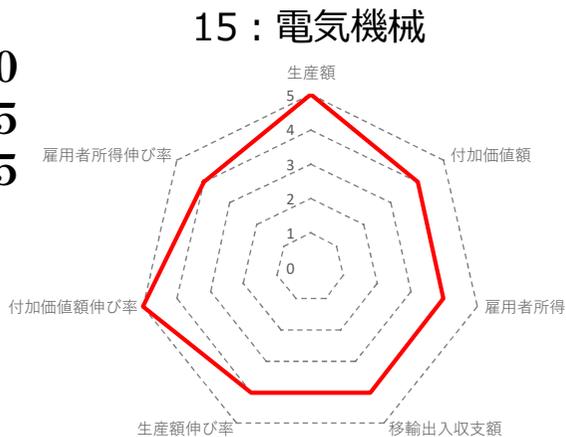
- 地域経済循環率は2.7ポイント上昇
- 所得への分配、支出による生産への還流が23億円超、所得からの支出が15億円上昇。



# 1.2 【RESAS】総合評価

1位

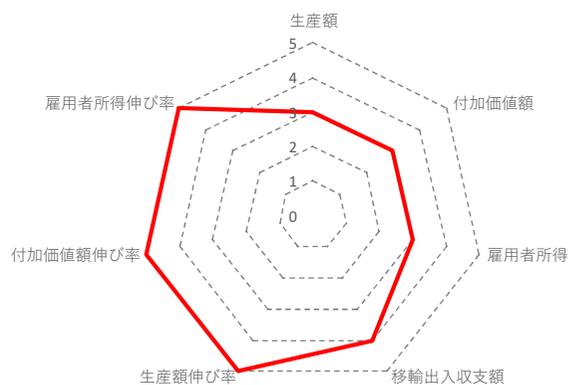
寄与度 17/20  
将来性 13/15  
総合 30/35



10 : 窯業・土石製品

2位

寄与度 13/20  
将来性 15/15  
総合 28/35



2位

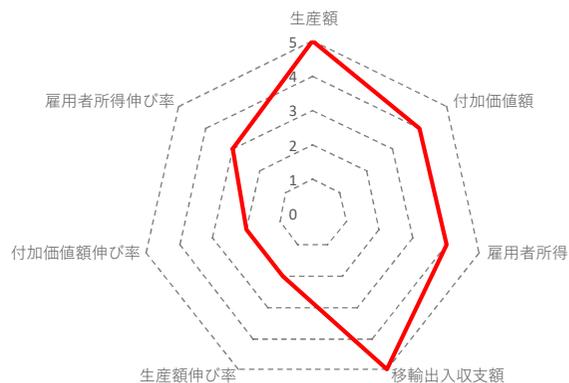
寄与度 16/20  
将来性 12/15  
総合 28/35



16 : 輸送用機械

4位

寄与度 18/20  
将来性 7/15  
総合 25/35



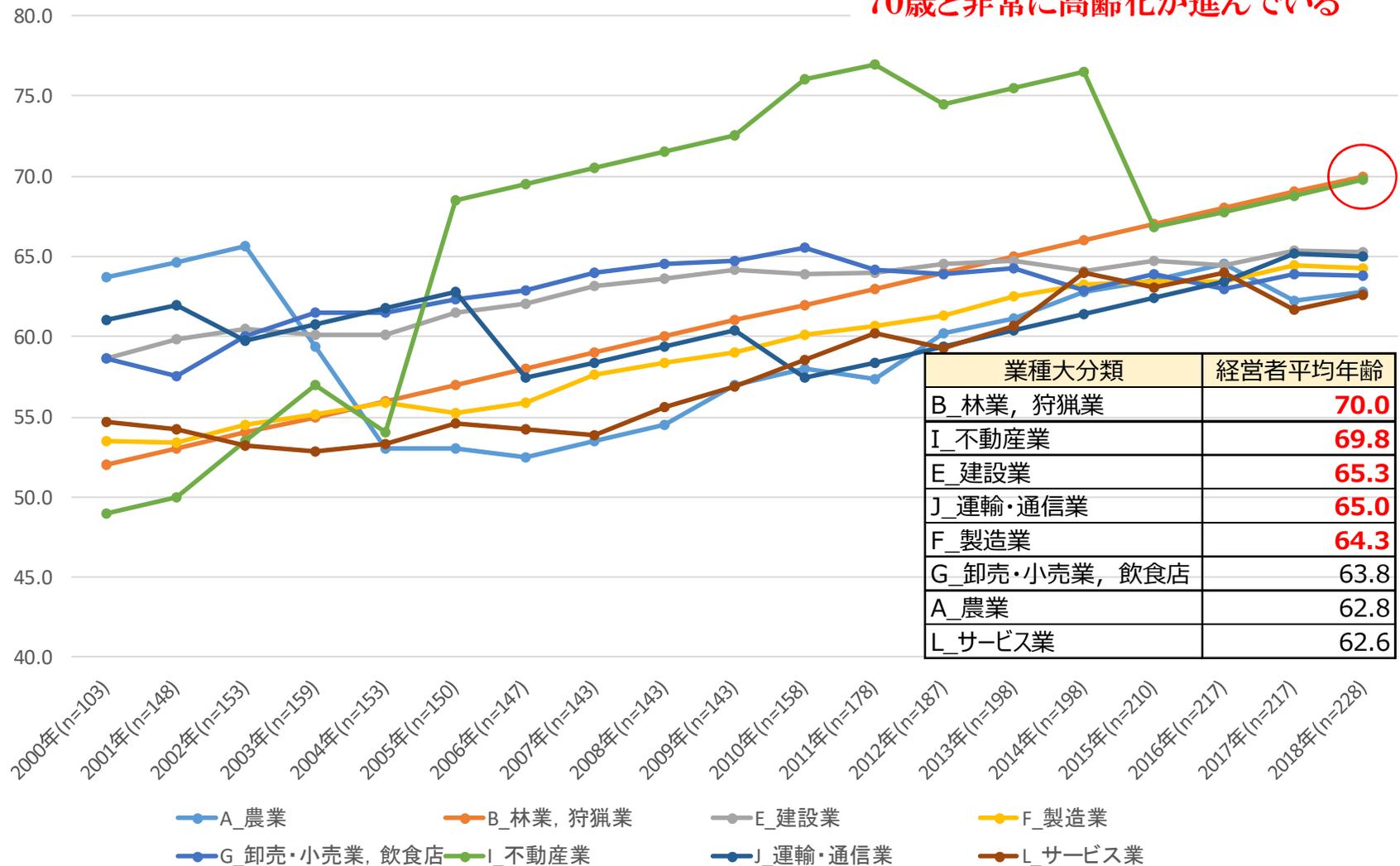
# 1.2 【RESAS】総合評価

業種分類	寄与度				将来性			寄与度合計 ※20点満点	将来性合計 ※15点満点	総合点 ※35点満点
	生産額	付加価値額	雇用者所得	移輸出入 収支額	生産額 伸び率	付加価値額 伸び率	雇用者所得 伸び率			
15:電気機械	5	4	4	4	4	5	4	17	13	30
25:建設業	4	4	5	3	4	4	4	16	12	28
10:窯業・土石製品	3	3	3	4	5	5	5	13	15	28
16:輸送用機械	5	4	4	5	2	2	3	18	7	25
14:一般機械	4	4	3	4	3	4	3	15	10	25
5:食料品	3	3	3	2	5	4	5	11	14	25
1:農業	4	4	3	5	3	3	2	16	8	24
37:公共サービス	4	5	5	1	3	3	3	15	9	24
18:衣類・身回品	3	3	3	4	3	4	4	13	11	24
13:金属製品	3	3	3	3	4	4	4	12	12	24
36:公務	4	5	4	2	3	2	2	15	7	22
38:対事業所サービス	3	3	4	3	3	3	3	13	9	22
34:運輸業	3	3	4	3	3	3	3	13	9	22
22:皮革・皮革製品	2	2	2	4	4	4	4	10	12	22
30:小売業	4	4	4	2	2	2	2	14	6	20
35:情報通信業	3	3	3	3	2	3	3	12	8	20
39:対個人サービス	3	3	3	2	3	3	3	11	9	20
17:精密機械	2	2	2	3	4	3	4	9	11	20
28:水道・廃棄物処理	3	3	3	4	2	2	2	13	6	19
6:繊維	2	2	2	3	4	3	3	9	10	19
33:その他の不動産業	2	2	2	3	3	3	3	9	9	18
31:金融・保険業	2	2	2	2	2	2	2	8	6	14
29:卸売業	1	2	2	1	2	2	2	6	6	12
24:その他の製造業	2	1	1	2	1	1	1	6	3	9
12:非鉄金属	1	1	1	3	1	1	1	6	3	9

# 2.1 【TDB】経営者年齢の変化(白鷹町:業種別)

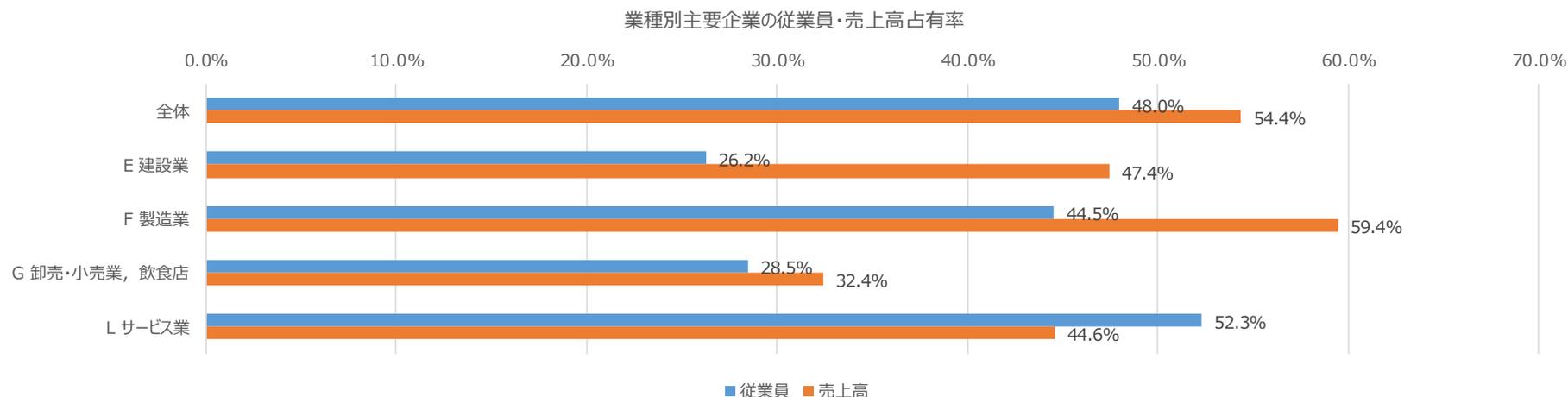
2018年においては全業種で全国平均60歳を上回る。また、林業・狩猟業、不動産業が70歳と非常に高齢化が進んでいる

業種別経営者平均年齢



## 2.2 【TDB】業種別主要企業(2019年時点)

主要企業が白鷹町内の従業員と売上高全体に占める割合はいずれも5割程度と、占有率が高い。製造業では売上高占有率が6割程度、サービス業では従業員占有率が5割超と非常に高いことがわかる。



業種大分類	白鷹町全企業			主要企業数			主要企業の占有率	
	企業数 (社)	従業員 (人)	売上高合計 (百万円)	主要企業数 (社)	従業員 (人)	売上高合計 (百万円)	従業員	売上高
全体	240	2,243	39,310	22	1,076	21,367	48.0%	54.4%
A 農業	13	12	414	3	7	275	58.3%	66.4%
B 林業, 狩猟業	1	0	1	1	0	1	-	-
E 建設業	64	343	8,967	3	90	4,252	26.2%	47.4%
F 製造業	44	860	16,412	3	383	9,754	44.5%	59.4%
G 卸売・小売業, 飲食店	54	130	4,113	3	37	1,333	28.5%	32.4%
I 不動産業	6	3	100	3	1	84	33.3%	84.0%
J 運輸・通信業	6	218	3,064	3	204	2,887	93.6%	94.2%
L サービス業	52	677	6,239	3	354	2,781	52.3%	44.6%

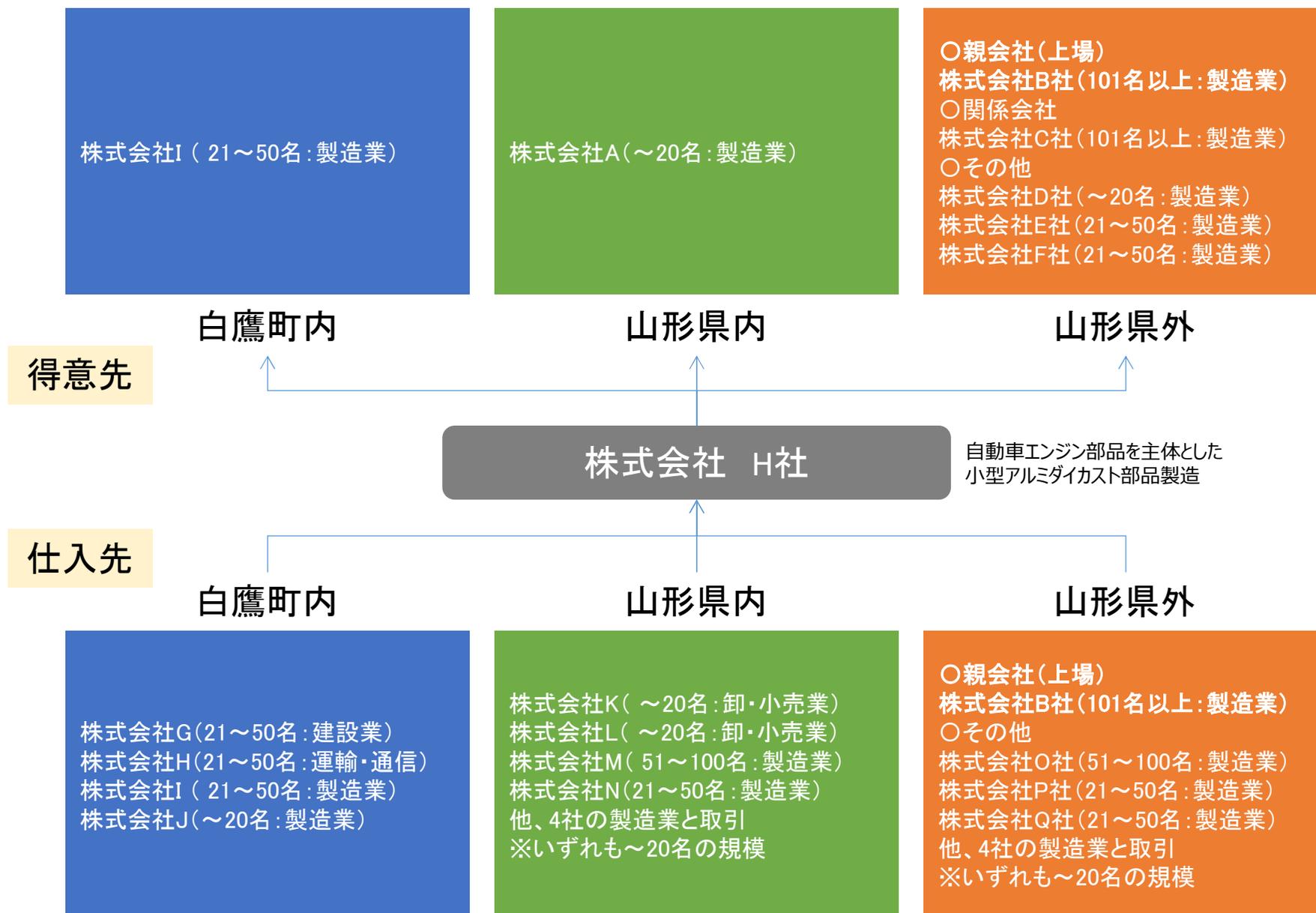
## 2.3 業種別主要企業(2019年時点)

業種大分類	町内業種内順位	商号	従業員規模	売上高規模
A 農業	1/13	農事組合法人 A	～20人	1億超～5億円
A 農業	2/13	農事組合法人 B	～20人	～1億円
A 農業	3/13	合同会社 C	～20人	～1億円
B 林業, 狩猟業	1/1	D木材	～20人	～1億円
E 建設業	1/64	株式会社E工務店	21～50人	10億超～30億円
E 建設業	2/64	F建設株式会社	21～50人	10億超～30億円
E 建設業	3/64	G建設株式会社	21～50人	10億超～30億円
F 製造業	1/44	株式会社H社	101人～	30億円超
F 製造業	2/44	I株式会社	51～100人	10億超～30億円
F 製造業	3/44	株式会社J社	51～100人	10億超～30億円
G 卸売・小売業, 飲食店	1/54	株式会社K社	～20人	1億超～5億円
G 卸売・小売業, 飲食店	2/54	株式会社L店	～20人	1億超～5億円
G 卸売・小売業, 飲食店	3/54	有限会社M商店	～20人	1億超～5億円
I 不動産業	1/6	株式会社N企画	～20人	～1億円
I 不動産業	2/6	合同会社O企画	～20人	～1億円
I 不動産業	3/6	P不動産	～20人	～1億円
J 運輸・通信業	1/6	Q運送株式会社	101人～	10億超～30億円
J 運輸・通信業	2/6	R運輸株式会社	51～100人	5億超～10億円
J 運輸・通信業	3/6	株式会社S社	21～50人	1億超～5億円
L サービス業	1/52	社会福祉法人T会	101人～	10億超～30億円
L サービス業	2/52	U社株式会社	51～100人	5億超～10億円
L サービス業	3/52	医療法人社団V法人	51～100人	5億超～10億円

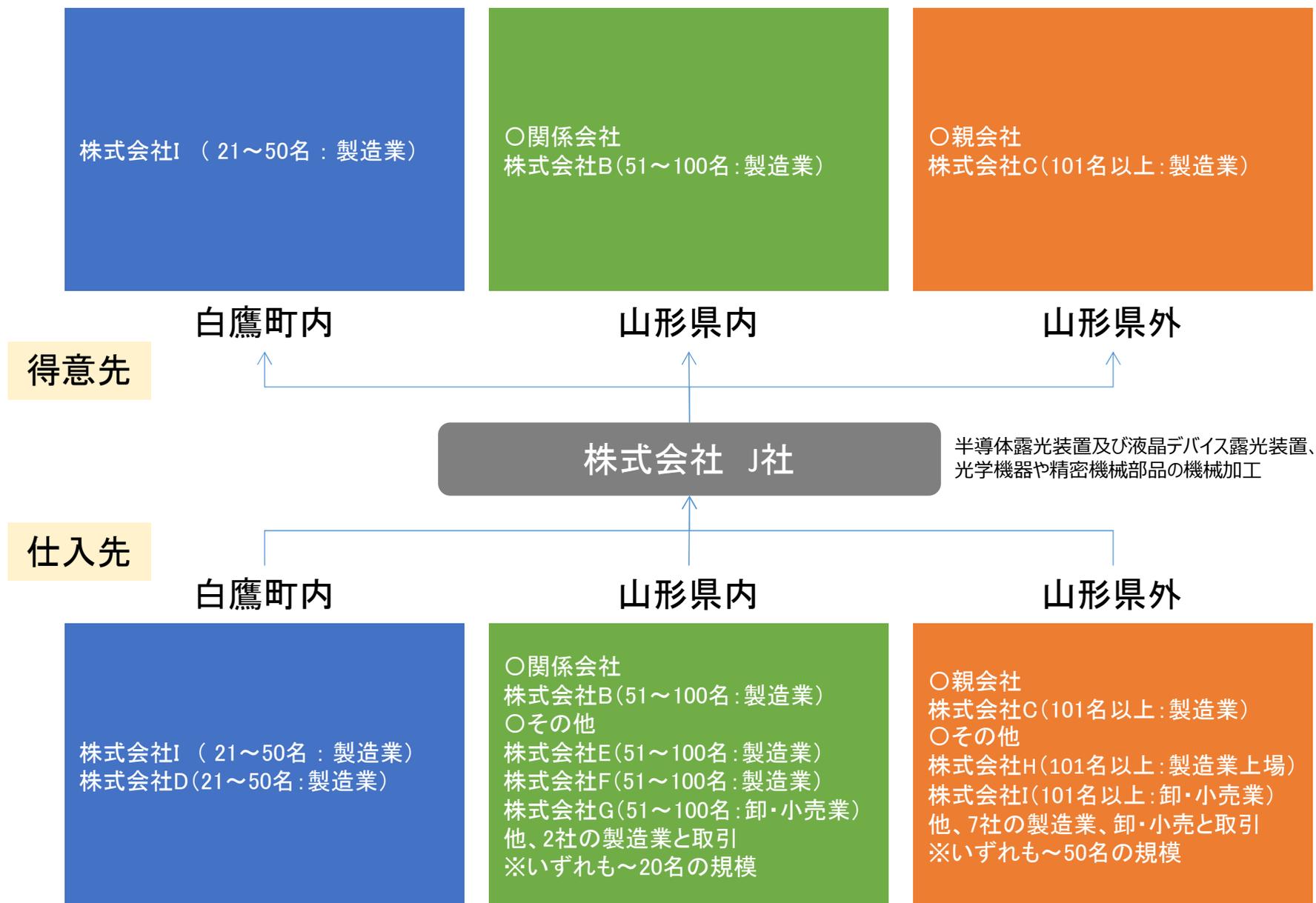
## 2.4 主要企業の取引構造①(建設業)



## 2.4 主要企業の取引構造②(製造業)



## 2.4 主要企業の取引構造③(製造業)



## 2.4 主要企業の取引構造④(サービス業)



### 3. まとめ (RESAS分析)

---

#### ①全体感

- ・白鷹町の産業は2010年と2013年時点を比べると生産額、付加価値額、雇用者所得が全体的に増加している。
- ・また、一人あたりの支出面を見ても、民間消費・民間投資ともに増加している。

#### ②中核産業

- ・白鷹町の産業の基盤となっているのは「輸送用機械」、「電気機械」、「建設業」、「農業」である。
- ・中でも、「輸送用機械」、「電気機械」、「農業」については移輸出入収支額がプラスであり、域外からお金を獲得している産業である。
- ・また、「建設業」、「電気機械」については大幅に雇用者所得を伸ばしている。

#### ③成長産業

- ・白鷹町にとって新たな柱となりえる産業としては、「窯業・土石製品」、「食料品」である。
- ・これらの産業においては、「生産額」、「付加価値額」、「雇用者所得」いずれも大幅に伸びている。

### 3. まとめ(TDBの企業情報による分析)

---

#### ①変化する産業構造

- ・18年ほどの長期トレンドをみると、企業数、雇用においてはサービス業が大幅に伸びている。
- ・製造業は企業数の変化は少ないものの、全体に占める売上高の割合は増加している。
- ・2010年頃から農業の企業比率が増加している。農事組合法人も増加傾向にある。

#### ②大手メーカーの製造拠点

- ・白鷹町に立地する企業の中で、売上50億を超えるような企業は存在しないが、大手製造業の製造拠点が立地しており、「輸送用機械」や「電気機械」といった産業の基盤となっている。また、これらの企業が域外からの仕事を域内企業へ提供していることがわかる。

#### ③成長産業

- ・また、2010年と2018年を比べて売上高を2倍以上成長させている町内企業が14社確認された。

#### ④経営者年齢への対応

- ・白鷹町の経営者年齢は全国平均、山形県平均よりも高く、いずれの産業も平均年齢は60歳を超えている。

# 3. まとめ(提言)

## (1) 知的資産経営支援による企業の強み・課題の把握

白鷹町の総人口は2015年時点で14,175人、2025年時点で16%程度減少することが見込まれている。生産年齢人口も7,620人から5,668人と26%程度減少する見込みである。加えて企業経営者の高齢化が進んでおり、休廃業リスクも高まっている状況といえる。このような状況を鑑み、白鷹町内に立地する企業の強み・課題の把握を通じて、産官一体となった今後の取り組みを決めることが必要である。

### 具体的な取り組み

- ① 集合型研修形式でワークを実施  
⇒ 経営者・職員など3名程度で取り組む
- ② 自社の強みや存在意義、課題を見える化  
⇒ 見える化し、アクションプランを明確にする
- ③ 経営課題解決に向けた支援の実施  
⇒ 商工会や認定支援機関による経営改善支援
- ④ 白鷹町による連携の場づくり  
⇒ 参加企業の特徴把握と注力施策への応用

### 期待される効果

- ① 地域企業の活性化  
⇒ 強みや課題の見える化により組織が活性化
- ② 外への魅力発信  
⇒ 営業時や資金調達時に自社の魅力を発信
- ③ 事業承継の入口  
⇒ 事業承継問題を経営者自身が認識
- ④ オープンイノベーションの促進  
⇒ 地域企業の特徴把握と連携促進

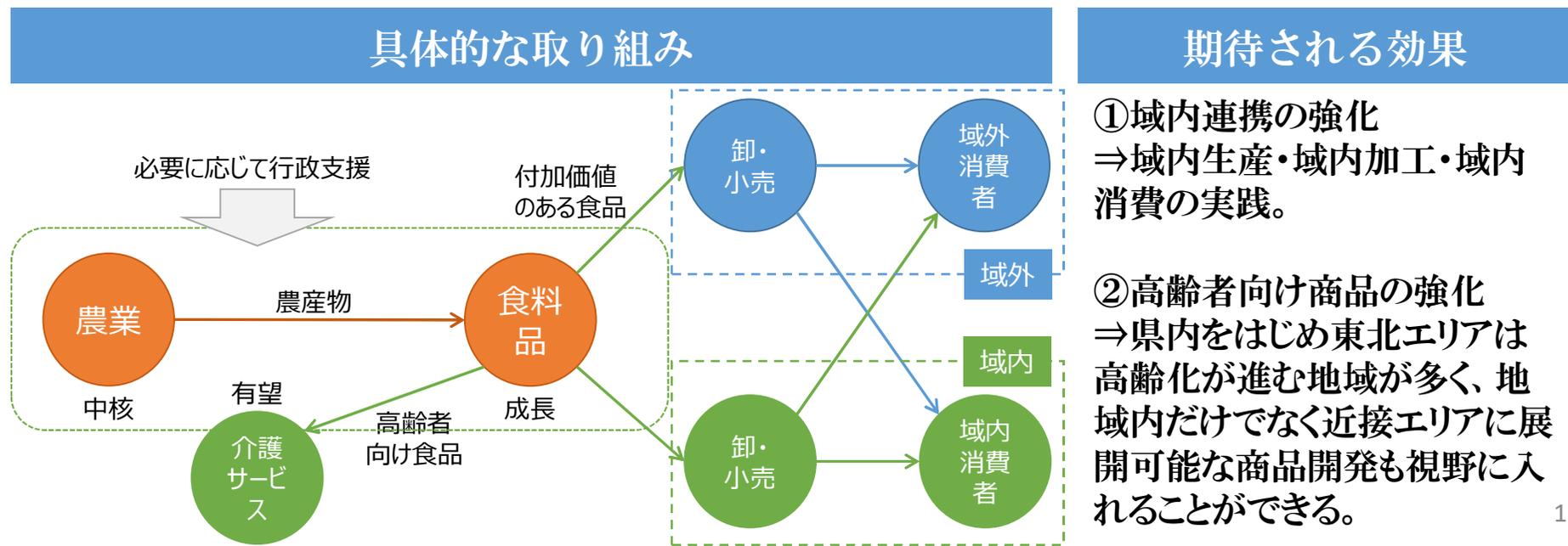
### 3. まとめ(提言)

#### (2) - 1. 農業と食品製造、介護サービス(公共サービス)等との連動

白鷹町の中核産業である「農業」と、成長産業である「食料品」、また今後より高齢化が進むにつれて増加する見込みの介護サービス(公共サービス)などが連携。開発コストや専門家のアドバイス等、取り組みの障害となりえるものがある場合は行政支援も検討。

例1: 介護事業者など、利用人口が増加する見込みのある域内ターゲットに対し、地産地消となる高齢者向けの食品を開発・提供。

例2: 農業・食料品が連携し、域外収入につながる高齢者向けの商品開発を実施。

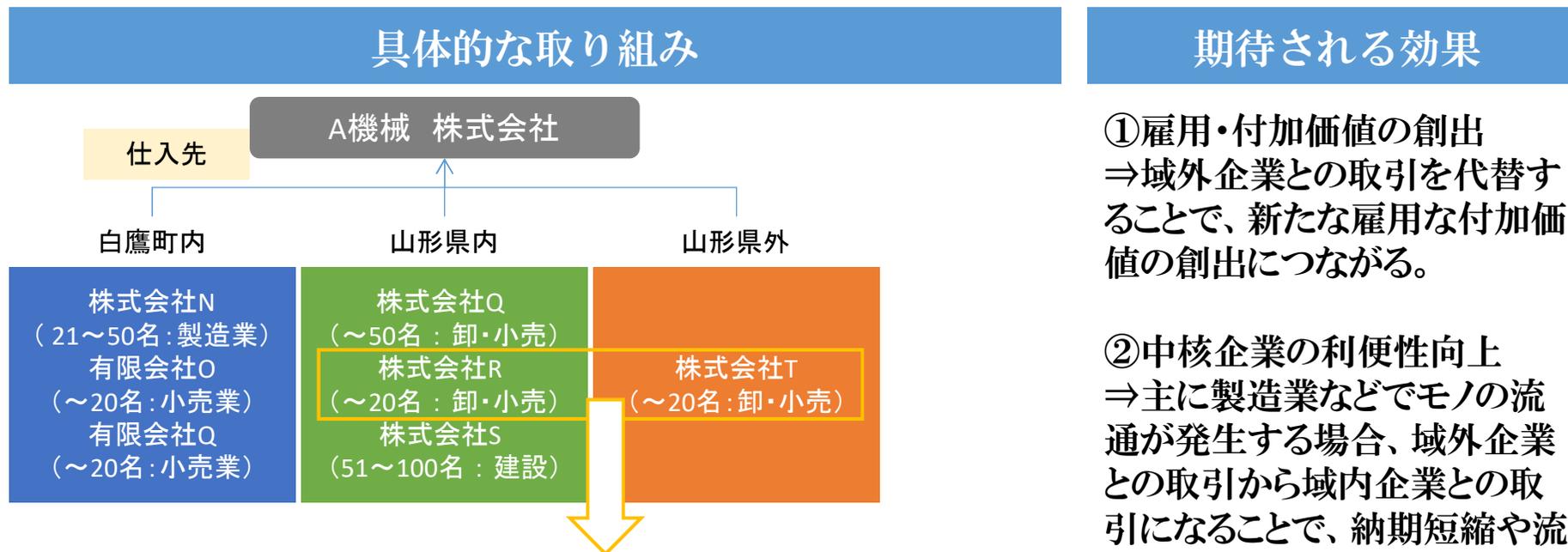


### 3. まとめ(提言)

#### (2) - 2. 中核産業におけるサプライチェーン(SC)、バリューチェーン(VC)の見える化

白鷹町には大手製造業の製造拠点が立地しており、地元企業がこれらの企業と取引を行っている場合、成長している事例も見られる。

主に自社の親会社から発注をうける大手製造業の製造拠点のSC・VCを把握し、域内企業で対応できる範囲を拡大し、経営基盤を強化していく。



白鷹町内で受託している企業と業種や規模が同等な域外企業が中核企業の調達先として存在している場合、事業所の近接性などの特徴を活かし、白鷹町内の企業で代替可能性を探る

#### 期待される効果

①雇用・付加価値の創出  
⇒域外企業との取引を代替することで、新たな雇用な付加価値の創出につながる。

②中核企業の利便性向上  
⇒主に製造業などでモノの流通が発生する場合、域外企業との取引から域内企業との取引になることで、納期短縮や流通コストの削減につながる。

# 3. まとめ(提言)

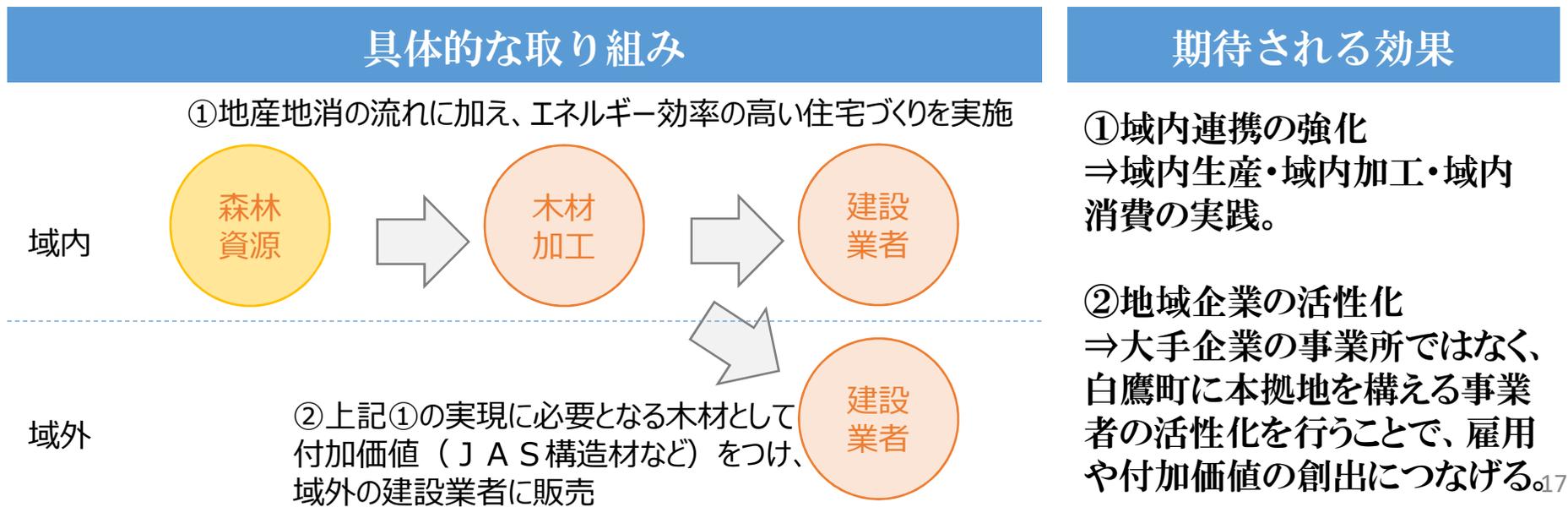
## (2) - 3. 森林資源の活用

町内建設業2位の取引構造を見ても、県内の森林組合や町内の木材加工企業との繋がりが見られ、以下のような取り組みを実現できるのではないかと考えられる。

例1: 木材を活かした環境にやさしく、エネルギー効率の高い住宅の開発(建設業)。

例2: 上記例1を実現するために必要な木材の開発・加工(木材加工事業者)

このように、公共工事に依存せず、住宅や事業所建築など、民間需要を取り込むため、木材利用によるメリットのPRを行いつつ、民間事業者が主導する建築物の木造化・木質化を推進する取り組み等を行うことで、持続的な成長を実現する。

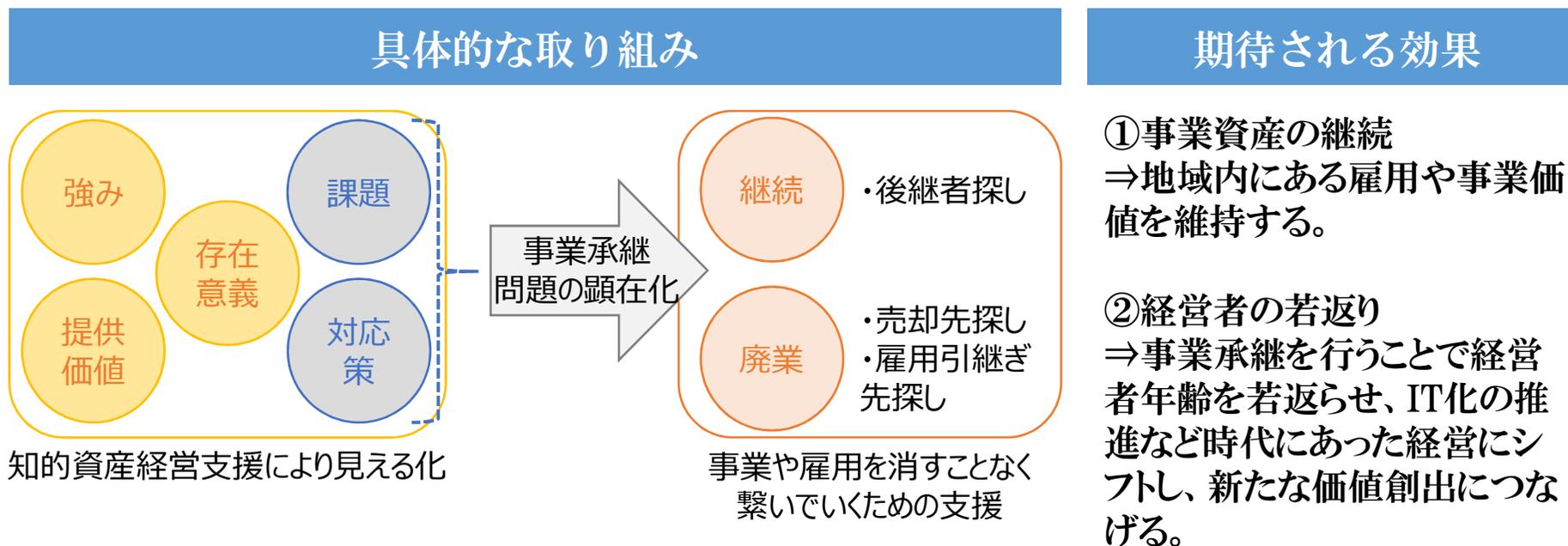


# 3. まとめ(提言)

## (3) 事業承継支援

白鷹町の産業が全般的に直面している課題として、経営者の高齢化があげられる。すべての業種において全国平均である60歳を2歳以上上回っており、廃業リスクが高まっている状況である。

提言①で実施する知的資産経営支援により、「自社の将来を見据える支援」を行うことで経営者に円滑に問題意識を持ってもらうことが可能となる。白鷹町の中にある事業資産を継続させていくことが非常に重要である。



### 3. まとめ(提言)

#### (4) 身近な支援機関のサポート

提言で述べてきた「①知的資産経営支援」、「②地域活性化に向けた取組」、「③事業承継支援」を実行するにあたり、地域企業単独での実行は情報や方法、人的資源が不足しており、困難である。白鷹町をはじめ、白鷹町商工会や地域金融機関が情報連携しながら地域企業を支援していくことが求められる。

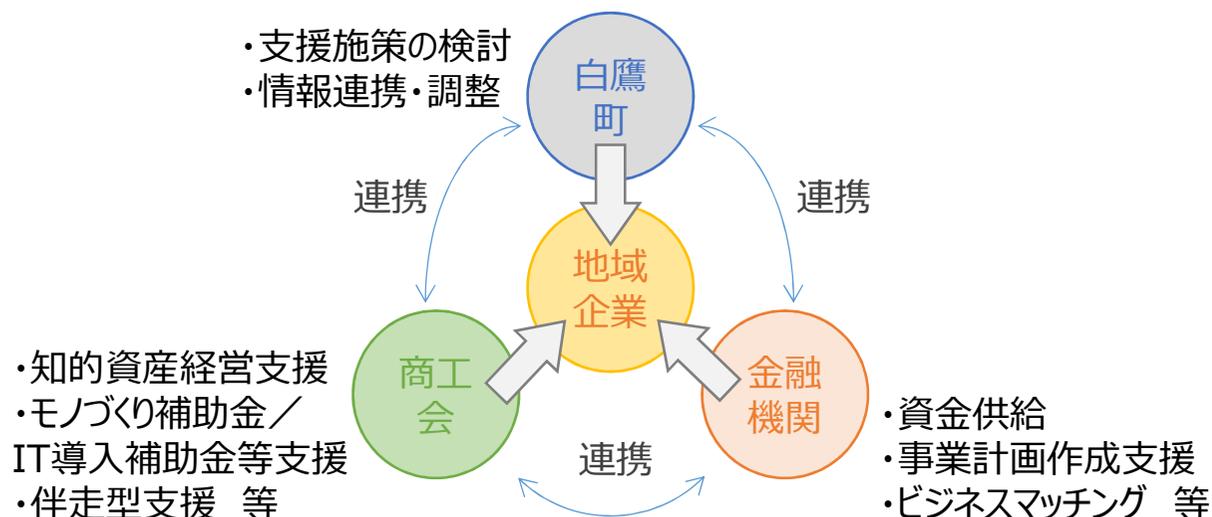
また、共通の視点を持つために経済産業省が公開しているローカルベンチマーク(※)などのツールを活用することも検討できる。

(※) [https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei\\_innovation/sangyokinyu/locaben/](https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/)

#### 具体的な取り組み

#### 期待される効果

地域企業を支える主なプレイヤー



①地域企業を見る共通目線  
⇒ローカルベンチマーク等を活用し、地域企業を各機関が共通の目線でみる。

②必要な支援の実行  
⇒各機関が得意分野を活かし、地域企業の課題解決に向けて事業計画作成支援やマッチング等の支援を実行し、地域経済を維持・活性化させる。